

武士に成る、
武士として戦う

―特集―企画展―

中世武士の

戦いと生活

武士の世界
そのぞいてみよう!

武士に成る

―伝畠山重忠所用兜―

戦いに備える

島津家初代

島津忠久肖像掛幅
玉里島津家資料

火薬の調合・図面が記された
秘伝の書

武士を継ぐ

武士が祈る

戦闘のため、
菩提を弔うため、
家運長久のための、
祈祷

戦う・もらう

豊臣秀吉の弟・秀長から届いた手紙

関ヶ原の戦い
での功績が
認められた証

―島津義弘感状
慶長五（一六〇〇）年十月十日―

虎狩絵巻より

令和8年

3月12日㊥―5月31日㊤ 黎明館3階 企画展示室

「武士」と聞いて、どんな姿を思い浮かべますか。鎧兜をつけて馬に乗り戦う姿、城内に集まって相談している姿、教科書に載っている有名な戦国武将の顔など、人によってイメージするものは様々なのではないでしょうか。

武士の姿は時代や場所、地位などによって大きく変わります。中世、特に戦国期の武士については合戦ばかりしているイメージが強いでしょう。しかし合戦に備え、戦いが決着した後も恩賞を得るためのプロセスに対応する必要がありました。もちろん、常に戦いがあるわけではなく、農業も営み、普段の生活もありました。

そこで、本企画展では南九州の武士の日常、生活面や文化面に焦点をあてて、戦うだけではない武士の姿を紹介します。また、あまり知られていない多くの武士がいたことにも注目してください。そして、中世武士たちは近世にどのようなつながっていったのかを見ていきます。

関連イベント

申込詳細は、ホームページまたはチラシをご覧ください。

―ふるさと歴史講座「武士のイエとイエ意識」―

｜講師｜鹿児島大学教育学部教授 佐藤 宏之 氏
｜日時｜令和8年3月15日（日）10:00～11:30
｜会場｜黎明館3階 講座室
｜申込｜事前申込制（電子申請または往復ハガキ）
応募期間：1月26日（月）～2月22日（日）
※ 講座後に、企画展示室で展示解説を行います（要団体入館料）

―学芸講座（展示解説講座）「中世武士の戦いと生活」―

｜講師｜黎明館主査 吉峯 真太郎
｜日時｜令和8年3月21日（土）13:30～15:00
｜会場｜黎明館3階 講座室
｜申込｜事前申込制（電子申請または往復ハガキ）
応募期間：2月19日（木）～3月5日（木）
※ 講座後に、企画展示室で展示解説を行います（要団体入館料）

―展示解説―

｜日時｜令和8年3月15日（日）11:40～12:20
3月21日（土）15:10～15:50
4月12日（日）・5月2日（土）13:30～14:10
｜会場｜黎明館3階 企画展示室（要入館料、事前申込不要）